



## 新生徒会の船出

令和七年が開け、生徒会本部の新しい役員が決まりました。(〇数字は学年)

- 会長…白石さん②  
 副会長…飯田さん②  
 副会長…馬場心さん①  
 書記…松尾星さん①  
 学習部…本田聖さん②  
 生活部…石橋さん②  
 保健部…永田さん②  
 文化部…松尾樹さん②

上記が新生徒会の役員です。昨年末の選挙や専門部の再編を経て選出されました。期待しています！

生徒会活動は「議會制民主主義」(私たちの国が選んでいる政治形態)や**社会の仕組み等**を学ぶ「教材」でもあります。専門委員会の活動を通して、みんながよりよく生きるための「福祉」や「環境づくり」のほか、「文化」や「教育」を高めるための方法などを学ぶこともできます。

今、社会は大きな変化の中にあります。どのような未来になるうとも、互いに想い合い、よりよい未来を創る方法を学ぶために、前例に囚われない**チャレンジ精神**で頑張りたいと願っています。



## 新生徒会長の夢・憧れ・志

夢・憧れ・志



一月十日、生徒会の引継ぎ式が行われました。森前会長から生徒会旗を受け取った本校七十九代目となる白石生徒会長の就任あいさつ(抜粋)を掲載します。

これから全校を引っ張っていくには、様々な事が求められると思っています。具体的には、すべての生徒会活動の根底に「生徒の主体性と積極性」、「公共の精神」を常に持って運営したいと考えています。今年の生徒会年間スローガンは、「初志貫徹」です。この言葉は、困難にぶつかっても最初の信念を最後まで貫き通すという意味があります。口之津中全校生徒の皆さん一人一人が主役になり、「初志貫徹」のスローガンのもと、一致団結し、新たな口之津中の歴史を築いていきましょう。

## 初志貫徹

今年の生徒会年間スローガン

優しい表情の中に、強い意志やあふれる意欲を感じたスピーチでした。彼女らが、彼女たちが思っていた以上の活動ができるよう全力でサポートしていきたいと思っています。皆さんもどうぞご期待ください。

## お昼の曲選び

《コラム 港町ブルース》



お昼(給食時間)には、生徒会活動として、「献立の紹介」や「お知らせ」等のほか、生徒が選んだ曲を流します。ある日…、係の生徒に「なぜこの曲を選んだの？」と聞くと、少し困った顔で「聞きたかったからです」とのこと。うーん…、一段レベルを上げようよ。

## 生徒会活動には

公共サービスとしての「意義」が要る。

「テスト前の応援ソング」、「落ち込んだ人への激励ソング」、「みんなの心に寄り添う歌」、「平和を祈る歌」など、選曲に意義を持たせ、「私」ではなく「私じゃない誰か」を想う活動へ。お昼の選曲一つでも思いやりや「公共心」、「志」を育むことができると思っています。

## 《 主な行事予定 》

### 《令和7年1月》

- 8日(水) 始業式(給食あり)  
実力テスト(3年生)～9日
- 9日(木) 市学力テスト(1・2年生)
- 10日(金) 生徒会役員任命式
- 24日(金) 学習コンテスト(英語、全学年)
- 28日(火) 公立高校特別選抜検査  
(合格発表は1/31←3年生は午後下校)
- 31日(金) 漢字検定

### 《令和7年2月》

- 4日(火) 学年末テスト(3年生)～6日
- 7日(金) 入学説明会(新入生とその保護者)
- 18日(火) 公立高校一般選抜検査～19日  
(合格発表は3/5←3年生は午後下校)
- 19日(水) 学年末テスト(1・2年生)  
～21日
- 25日(火) 授業参観、学年育友会、評議員会

《心に響いた言葉》 「不安はありますが、がんばります！」

年明け、校長室に来た新生徒会長の言葉から。「不安がある」と言いつつ、やる気に満ちた表情に期待が高まりました。



シリーズ「学校教育改善の道筋」

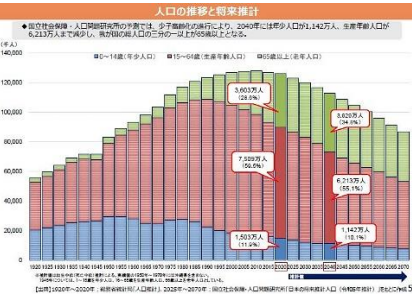
今号から、今まさに文部科学省で審議中の話題を取り上げていきます。なぜ、まだ話し合い途中の内容を取り上げるか――、それは、そこに「今の課題」があるからです。正式名称は「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」というもので、いわゆる「次の」「学習指導要領」の方向性を示すものになります。その柱は四つあり、その中で生徒に直接関係のある次の三つを取り上げます。

一、多様な子供たちを包摂する柔軟な教育課程の在り方

二、各教科等やその目標・内容の在り方

三、教育課程の実施に伴う負担への指摘に真摯に向き合うことを含む、学習指導要領の趣旨の着実な実現のための方策

本題に入る前に、下のグラフを御覧ください。これは、文科省の説明資料の中で一番最初にあった「人口減少」を表したものです。人口減少は全ての分野で通底する課題だと感じました。



《第一回》

一、多様な子供たちを包摂する柔軟な教育課程の在り方

この項目について、文科省のホームページにあった資料には、次のような説明がありました。

○興味・関心や能力・特性に応じて子供が学びを自己調整し、教材や方法を選択できる学習環境デザインの重要性、デジタル学習基盤を前提とした新たな時代にふさわしい学びや教師の指導性の在り方

○教師に「余白」を生み、教育の質の向上に資する可能性も含めた、子供たちの可能性が輝く柔軟な教育課程編成の促進の在り方

○不登校児童生徒や特定分野に特異な才能のある児童生徒など、各学校が編成する一つの教育課程では対応が難しい子供を包摂するシステムの構築に向けた教育課程上の特例等の在り方

要約すれば「柔軟な指導」「柔軟な学習計画」「柔軟な学習環境」「柔軟なシステム」というところでしょうか。ますます変化が大きくなる社会に対応する多様性がよりいっそう求められていくと受け取りました。…正直なところ、ここまで書いて頭の中が（柔軟性を失って）固まっています。とりあえず、「教師の『余白』（余裕）」を作ることが先かな…と思っています。

ふるさとの文化・歴史・人物 ― 口之津中教育の視点から

「山田与茂作」

口之津の子どもたちにとって、一度は聞いたことがある山田与茂作ですが、どんな人物だったかということについては、次のように言われています。



「呼称(呼び名)と云い、経歴と云い、伝説と云い、作品と云い、まことにとらえがたい人物である。」

久留米大教授 竹村寛氏の著書から

幼いときにポルトガル人に画法を習った南蛮絵師、島原・天草一揆では天草四郎に次ぐ副将、あの有名な陣中旗を描いたが、幕府軍への内通者として牢に入れられ…、でもそのことで運よく幕府軍には助命され、一揆の後は江戸に住まい、のちに長崎に帰ったとか、海外に渡航したとか…。まさに謎に満ちた人生です。ただ、家族愛は強かったとの記述を見つけたときは、素直に嬉しく感じた山田与茂作でした。

【お知らせとお願い】

本年度から県立高校の入試日程が例年より早まっています。その他、私立学校や国立学校の入試もあって、早い段階で合否の結果が知らされる生徒がいます。しかし、多くの生徒がその後の受験を控えておりますことに御配慮くださいますようお願いいたします。